

平成30年第1回（定例）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成30年1月25日午後1時30分

場所

高砂市役所南庁舎4階研修室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

大西教育部長、永安教育推進室長、瀧野学校教育室長、都筑教育推進室教育総務課長、
阿部教育推進室生涯学習課長、赤松学校教育室学校教育課長、
福原こども未来部長、木村子育て支援室長、福本子育て支援室子育て支援課長、
伊森未来戦略推進室主幹、藤田未来戦略推進室青少年センター係長

本日の会議に付した事件

報告事項

- 1 総合教育会議の資料について
- 2 高砂市小中一貫教育リーフレットについて
- 3 悩み相談シートの結果について
- 4 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

その他

- 1 2月行事予定について

議 事 報告事項 2 高砂市小中一貫教育リーフレットについて

- 事務局 (報告事項 2 について説明)
- 教育長 修正等はなしに、これができ上がった形ということですか。
- 事務局 最終原稿という形です。
- 委員 A これは、毎年配るのか。それとも、何年かごとに配るのか。
- 事務局 今のところは、次は考えておりません。データが28年度の小学校 6 年生ということになっておりますので、また検討したいと考えています。
- 教育長 これは、在籍している小学校 1 年生から中学校 3 年生までに配るのと、入学説明会で、平成30年度の 1 年生にも配るということですね。その後はどうするのか。
- 事務局 その後は、また入ってくる新入学生に渡す必要があると考えています。
- 委員 A 教育計画の何年間計画の中で、小中一貫に対する根幹的なものが変わるたびに、多少修正した形で作り直さないといけないのではないかと。せっかくきれいに作ったこういうのを出すなら、事業として何年かに 1 回ぐらい出すという計画を立てておいたほうがいいと思う。
- 事務局 実践して、検証して、また見直すべきところは見直していくということが必要になるかと思っておりますので、そういう方向で考えていきたいと考えています。
- 教育長 中身については、毎年、年度末に見直しをして、修正を加えるべきものがあれば修正を加えて、31年度も、新入生に配って保護者に啓発していく、それが基本的な考え方です。
- 委員 B 私は毎年配ったほうがいいと思う。ただ、予算が絡んでくるので、こんないいものはとてもできないと思うので、1 回配って、カラーでなくてもいいし、紙質も落としてもいいが、情報を繰り返し繰り返し出すべきだと思うので、できたら毎年、少なくとも隔年とか、頻度を増やしたほうがいいと思う。
- 委員 C 転校生にも必ず配布して。
- 事務局 転校生とか、また P T A の総会とか委員会でご利用いただけるように、学校には余部を配布しています。
- 教育長 毎年こういう立派なものでもなくて、質は落ちても、啓発していくというご意見もありましたが。
- 事務局 予算的などころもあり、ホームページには掲載して、周知を図ろうと考えています。
- 委員 D 『ぐーちょきぱー』ってありますね。小学校で独自にしていたのかもしれないが、白黒でプリントしたものを毎年もらっていた。1 年見ないと忘れてるし、学年が変わると違うところを見なきゃいけなかったりする。それを毎

年そうやってもらっていると思い出すので、ああいう方法でもいいのかなと思う。

それと、私たちはわかっているが、竜山中学校ブロックと荒井中学校ブロックが、めざす子ども像が一緒で、最初のタイトルが一緒ですね。でも、その下の内容がどうして違うのか、初めて見る方は疑問に思うと思う。校区の問題だということはわかっているが、当たり前のわかっていることも親切に少し書いて、下のほうに注釈で「この2校区は」というようなことを書いておくと、距離が縮まるかなと思う。

○委員A もっと各学校の特色をはっきり出すために、学校の校長が変わるたびに、最低限、経営教育方針、学校運営方針があると思うから、ある程度、適宜出していかないといけない。それで、ほかの中学校ブロックはどんな形でやっているかを、今までわからなかったと思うが、各中学校ブロックで特色のある取組を出してもらって、小中一貫の特色で学力向上につなげるようにしたいなら、ほかの校区のことに興味を持って、教育方針がちょっと違うなら、うちの学校にも要望してみようかということが出てきたりする。余白がいっぱいあるので、もうちょっと書き加えられるものが注釈的なものであるのではないか。たくさん書いても読んでくれないかもわからないが、興味ある人にとっては、疑問に、多少答えられるような記載があってもいいのかなと思う。

○事務局 紙質とか、カラーではないかもしれませんが、来年度も出す方向で見直していきたいと思います。特に、この取り組み内容と、アンケート数値も、時がたつと価値がなくなっていくかと思しますので、直近の数値などを入れながら出させていただきたいと思います。新1年生には必ず出して、あと、予算のこともありますので、対象をどれだけ広げられるかは、来年度以降、見直す内容については見直していきたいと思います。

それから、竜山ブロックと荒井ブロックについては、早急に、注釈をつける形で訂正したいと思います。

○教育長 修正を加えるのは、まだ可能だということなので、修正を加えた形のものをお渡しするということさせていただきます。

これにつきまして、よろしいでしょうか。

議 事 報告事項3 悩み相談シートの結果について

○事務局 (報告事項3について説明)

○委員A 結局問題なのは、「1学期と2学期の両方の悩み相談シートに記入している児童生徒がおり」ということで、どのぐらいの数と把握しているか。

- 事務局 全く同じ内容で書いてきている子と、同じ児童が別の事案で書いてきていることもあるんですが、それを含めると、小学校では15人、中学校では18人いました。
- 委員A これに関しては、個別に重点的に接触して、ケアしているんですよね。
- 事務局 記載していた児童生徒については、全員に対して聞き取り等、また個別での対応をしていただいています。1学期も2学期も書いていた児童生徒については、さらにケアしていただくようにしていただいています。
- 委員D このアンケートは小学校の4年生からですよ。それ以前は、前にお聞きしたときに、ちゃんと表現がまだできないので、この年齢からしかやっていないという回答だったが、私がずっと見てきた感覚では、幼稚園のころから嫌なものという感覚が芽生えている。そして、小さいときに恥ずかしいことだということを教え込んでおかなければいけないんじゃないかと思う。していること自身に本人が恥じらいを感じることを植えつけなければ、なくなってしまうので、小さいときに対しても何かの方法でキャッチして変えていくようにしてほしい。
- 事務局 すぐにはなかなか難しいかと思いますが、そういった状況を工夫しながら、検討させていただきたいと思います。
- 教育長 「いじめ」という表現とか、「悩み」という表現ではなく、例えば幼稚園の子どもさんにしても、「いじわる」とか、または「嫌なこと」とか、されたことはないですかという表現で聞けば、文章を書くという形では難しいとは思いますが、把握することは可能かなと思うので、ぜひそういうことも前向きに検討していただきたい。
- それでは、これについてはよろしいでしょうか。

議 事 報告事項4 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

- 事務局 (報告事項4について説明)
- 教育長 承認一覧、5つありますけれどもよろしいでしょうか。
ご意見等ないので、承認します。

議 事 その他 2月行事予定について

- 事務局 (その他について説明)
- 教育長 この予定で、よろしくお願いたします。
もう一つ、高砂市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設に対する市の考え方について、説明をお願いします。
- 事務局 (高砂市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設に対する市の考え方につ

いて説明)

- 委員D 竜山中学校のところが面積が増えるのはどうしてか。
- 事務局 中学校給食用の配膳室の面積が増える。高砂中学校はプラスしていませんが、残り5中学校はプラスしていて、それに基本的な考え方の60年以上となる棟の面積を15%減というところで、竜山中学校については増の部分が多いので、結果的に面積増となっているという、計算上の結果です。
- 教育長 課題となるものは、以後の総合教育会議などで市長と話し合うような機会も持てたらと考えていますので、よろしくをお願いします。

議 事 報告事項1 総合教育会議の資料について

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 委員A ペアや小グループによる話し合いというのは、具体的には学校でどんな状態のことか。それを取り入れると言って、右側のページで、「今までに受けた授業では、児童・生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思いますか」ということになると、小学校6年生は全国と変わらないけど、中学校になると64%と下がっていて、結局お題目として取り入れているのにこれだけの結果、ですよね。
- 委員B ペアや小グループの話し合いというのは、見かけはいいが、すごく学力差などが出てきてしまう学習方法で、話すのが苦手な子にとっては、結構つらい場面になる。
- 教育長 一方的に教師が教える授業ではなくて、問いかけに対して、ちょっと気の弱い子は、自分で「はい」と手を挙げることはなかなか難しいけれども、二人で話をしなさいとか、少人数で話をする場合ならばつつと語ったりすることが、小学校などはよくあるんです。そういったものを中学校でももっと取り入れて、自分の思いを話したり相手の話をしっかり聞いたりする話し合い活動をしたりとか、それによって、子供たちのちょっと苦手な部分、整理して話そうと思うと思考が働きますので、思考力とか表現力とか判断力とか、そういうようなことが今求められている中で、こういった活動が大切じゃないかなと思います。
- 委員A 次のこの部活動の数字、「ノー部活デー」の完全実施率なんて、運動部は1学期は18.3で、文化部は86.4で、守られてないんですね。この前、文部科学省がクラブ活動に対しての指針を出したでしょう。これが出たらやっぱり守るんでしょうね。
- 事務局 スポーツ庁の骨子では、練習は1日に2、3時間、週2日休養日ということです。
- 委員A 高砂市内の校長先生全部が決定してやらないと守れないですよと言ったこと

が、まだ一個もされていない。周知徹底は、できないんですね。

- 事務局 この間の委員会でもご提案いただきました指針の見直しも含めて、きちんとした形でこの部活動についてはやっていかないといけないという認識はしていますので、今、学校教育含めて、担当もその見直しの作業に入っていく段階ですので、もう少しお時間をいただいて進めていきたいと考えています。
- 委員B 見直しはぜひお願いしたいが、その中に現場の部活顧問とかは入っているか。
- 事務局 組織自体は今から編成して、基本的には現場の校長、部活担当者会を中心に見直しの作業を進めていく形でやっていきたいと思っていますので、十分現場とのコンセンサスを得る形で進めていきたいと思います。
- 教育長 学童保育について、イメージは曾根を写真で見いただきましたが、あといろいろと併用という言葉が出たりとか、専用ということが出ていますが、何かご質問がありますか。
- 委員A 真浄寺は各学校でやっているところあるが、どこですか。
- 事務局 伊保小学校区です。卒園者に限って受け入れをされています。
- 委員A ほかの幼稚園、保育園で私立のところはやっていると思うが、把握はしているか。
- 事務局 さいしゅうじこども園がしているということは把握しております。
公的には、市のほうに届出が必要になります。それが、今、その真浄寺とキッズスペースです。
- 委員C NPO法人のキッズスペースというのはどういうことをやっているのか。
- 事務局 もともとは高砂市の学童保育というのは、保護者の会が運営をされていたんですが、その中からNPO法人を立ち上げて今運営をされています。全部の校区を対象にされていますが、真浄寺については、園が独自で別個にしています。
- 委員C ほかにNPO法人でいろいろと全国にあるが、高砂でどこかやりたいというところはあるか。
- 事務局 今のところ、高砂ではお聞きしていません。
- 委員C まだそういう要望を出すことも必要ないということか。
- 事務局 今のところは、キッズスペースと真浄寺で一応、希望者は賄えているという状況です。
- 委員A 学童保育に関しての、スペースの規約はわかったが、預かり人数に対するスタッフの数に規約はあるか。
- 事務局 それも設置基準で決まっています、支援員数は40人に対して2人。国のほうが緩和の措置も考えてきていますので、おおむねということです。
- 委員D 4月から基準をちゃんとつくって、やり方が変わるということをちょっと聞いたが、そういうことは特になのか。
- 事務局 基準はもともと国の基準があるので、今もその基準に則った方法でやってい

ます。今ちょっと緩和措置が出ているとか、そういったところの見直しがある可能性はありますが、まだ何か通知が来ているというのはいないです。

○教育長

高砂市の独自の基準なんかはあるか。

○事務局

あります。条例に定めていますので、それに則って。また、国の基準がありますから、それに則ったものでしています。

多分、総合教育会議の中でも市長のほうからもお話があるかと思いますが、今、学校の、空き教室とかをお借りしている状況です。その基準を満たさないと、学童の待機児童を出してしまうようなことになるので、教育施設ではありませんが、また運用上でお借りしないといけない状況になっていますので、そのお願いも兼ねて、協議する予定です。

○委員C

より多くの部屋が必要になってくるということを依頼したいという意味か。

○事務局

はい。児童数は減ってきてはいますが、学童の人数は、減っていない、今年も増えているような状況ですので、それに対応できるだけの部屋を確保しなければならぬということです。

○事務局

教育部としても、29年4月につくった余裕教室の活用方法について、優先順位一番に学童保育所を上げている。これはあくまでも、過去の経緯とか学校の連携とか、必要性を考えた中で、決定しています。

○教育長

それでは、また総合教育会議の中でそれぞれの教育委員の皆さんのご質問やご意見をいただいてもいいと思います。

第1回の高砂市教育委員会は閉会いたします。

平成30年1月25日 午後3時58分 教育長会議の閉会を宣告
